

—2013.01—

[発行] 一般社団法人日本膜構造協会

**■□一般社団法人日本膜構造協会『新春賀詞交歓会』が賑やかに行われました**

一般社団法人日本膜構造協会は、平成25年1月11日正午より、東京・千代田区の霞山会館において、国土交通省、関係団体のご来賓など多数の方々のご参加をいただき、新春恒例の賀詞交歓会を賑やかに開催しました。

**開会にあたり**、石井一夫会長から次のような新年の挨拶がありました。

『新年明けましておめでとうございます。本日は、皆様お忙しいところ、日本膜構造協会・平成25年新春賀詞交歓会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。そして、公務ご多忙のところ、国土交通省より井上 建築指導課長にご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、日本建築センター・松野 理事長はじめ、日頃お世話になっている関係団体の皆様にもご出席をいただいております。誠にありがとうございます。』

賀詞交歓会開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

**当協会**は、昨年4月に一般社団法人へ移行しほぼ1年が経過しようとしております。

日頃より、協会の運営また事業についてご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。協会の活動内容について大きな変化はありませんが、これを新たな飛躍への機会と捉え、我が国の膜構造の発展に寄与していきたいと考えております。さて、最近の膜構造を取り巻く状況に対応する協会の取り組みについて、簡単にご紹介いたします。

**第一に**、諸外国では幅広く建築されているETFEフィルム膜構造について、我が国でも建築ができるよう、協会として制度化に向け働きかけをしており、早期の実現を期待しております。また、魅力ある空間を効率的に創造する空気膜構造については、特に仮設建築物における活用の期待も大きく、協会としてその円滑な建築が可能となるよう各方面への働きかけに努力してまいります。

**第二に**、膜材料・膜構造は、改めて言うまでもなく、他の材料等に比べ様々な特性を有した魅力のある素材であり、構法です。建築また都市における省エネルギー性向上等の環境への貢献、安全性を追求する天井への活用等、その特性を生かした利用の拡大が図られるよう、協会として整備主体また設計者の理解を深めるための調査研究や普及広報活動を進めてまいります。

**最後に**、我が国における建築に対する考え方もストック重視へと転換しています。当協会が1987年から15年間にわたり審査に関わった特定膜構造建築物だけでも、そのストックは約700件、使われた膜材料の面積も約100万㎡であり、我が国における膜構造建築物等のストックも相当の規模のものとなります。膜構造建築物等のストックの適切な維持・管理は、膜構造に関わってきた関係者の大きな使命であります。協会として、ストックデータの整備、維持・更新に係る指針類の整備、定期点検制度の推進等に努力しているところですが、今後更に充実させていかなければならないと考えております。

**日本膜構造協会**は、社会の幅広い要請に応えた膜構造による『より良い環境を目指す空間創造』への貢献のため、本年も積極的な取り組みに努力いたしますので、皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。』





**次に**、ご来賓を代表して井上勝徳・国土交通省住宅局建築指導課長から、つぎのようなご挨拶がありました。

『今、政府は（事業規模で）20兆円の大型補正予算を計画しています。中身は、緊急経済対策、学校の耐震化、震災復興、老朽化したインフラの復旧対策です。さらに建築分野としては、社会資本整備審議会で決定された耐震化についての議論をしていますが、1、2ヶ月中には結論を出したいと思っています。また、古い基準で作られた東京ドームなどの大臣認定によって建てられた建築物のリニューアルの方策や、地震による天井落下の防止策についての基準を検討しています。膜協におかれましても、天井

を改修する場合の膜材料の活用を目指した技術開発をいただきたいと思います。今年は経済再生の初年度となるので、ご協力をお願いします。』

**続いて**、能村光太郎・副会長（太陽工業㈱ 代表取締役社長）が『近頃、ドイツの車メーカーのベンツが、新モデルを紹介するなかで、外観のみではなく車内のインテリアに焦点を当てて「車」を論ずるなど、他の視点から「もの」を眺める手法を掲げています。私どもの扱う「膜」についてもこの手法を適用することで更に膜構造を発展させたいと考えています。』と挨拶し、乾杯の発声により祝宴が始まりました。



**その後**、飯塚佳央理事の音頭により三本締めによる中締めが行われました。和やかな雰囲気の中で、とどこおりなくお開きとなり、午後1時30分過ぎに散会いたしました。

